

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 不顕性肝性脳症の発症予測や予後改善を目指した、 脳の炎症・免疫機能の評価 」 への協力をお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013年4月9日～2026年6月30日~~2025年1月29日~~の間に、
当科において、慢性肝疾患と診断された方

研究期間：2025年10月23日~~研究機関の長の研究実施許可日~~～2029年3月31日

研究目的・利用方法：

肝性脳症において、脳の炎症や免疫機能がその発症や症状、予後に与える影響を明らかにすることで、脳の炎症や免疫機能を標的とした新たな治療開発を促進させることを目的とした共同研究実施。

研究に用いる試料・情報の項目：

試料：血漿、血清

情報：診断名、年齢、性別、既往歴、合併症、教育歴、投薬内容、精神神経機能検査

研究に用いる試料・情報の利用又は提供を開始する予定日：

2025年10月31日

外部への試料・情報の提供：

試料：岐阜大学の手順のもと、検体専用ケースにて測定先の国立健康危機管理研究機構に郵送する。

情報：国立健康危機管理研究機構へ電子的配信にて提供する。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

国立長寿医療研究センター研究所 認知症先進医療開発センター
脳機能画像診断開発部 副部長 木村泰之

研究責任者

岐阜大学大学院 医学系研究科 教授 清水雅仁

共同研究機関等：

1. 国立長寿医療研究センター研究所 認知症先進医療開発センター
脳機能画像診断開発部 副部長 木村泰之
2. 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター センター長 考藤達哉
3. 岐阜大学大学院 医学系研究科 教授 清水雅仁

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜大学大学院医学系研究科 研究科長 牛越博昭
岐阜大学医学部附属病院 病院長 秋山治彦

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
電話番号：058-230-6308
氏名：清水雅仁

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp